

【教養ゼミ（社会系コース）】

「二十歳のころプロジェクト」成果報告会・批評会

評価の観点

- 1 質問の適切さ。相手の記憶や見解を引き出す話題や問いの設定 → ABCの3段階
 - 2 文体の適切さ。インタビューの雰囲気や文章を再現 → ABCの3段階
 - 3 要約の適切さ。お話の骨格と全体像をコンパクトに整理 → ABCの3段階
- ※ コメント（評価と総評）は、短冊状に裁断した上で、発表者にフィードバックします。

担当	評価		総評
岩田 廉太郎 ・ 上嶋 ・ 辻本	1		
	2		
	3		
出口 信孝 ・ 宮崎 ・ 廣谷	1		
	2		
	3		
草原 和博 ・ 八幡 ・ 横井	1		
	2		
	3		
蔵田 義雄 ・ 小川 ・ 宮本	1		
	2		
	3		
新開 良一 ・ 新開 後藤 都築	1		
	2		
	3		
棚橋 健治 ・ 榎本 ・ 村島	1		
	2		
	3		
東 隆 ・ 前田 ・ 藤本	1		
	2		
	3		
門田 宏和 ・ 大嶋 ・ 小川	1		
	2		
	3		
村島 正人 ・ 内藤 ・ 市橋	1		
	2		
	3		
山口喜久一郎 ・ 中村 ・ 岩井	1		
	2		
	3		
渡辺 正樹 ・ 木坂 ・ 南	1		
	2		
	3		

学生番号 _____

氏名 _____

2010年6月16日

関係各位

教養ゼミ「二十歳のころプロジェクト」原稿確認（依頼）

広島大学大学院教育学研究科
准教授 草原和博

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは教育学部1年次生向けの教養ゼミ「二十歳のころプロジェクト」にご協力をたまり、あらためて御礼申し上げます。担当学生の手で添付の通りインタビュー記録の整理を終えました。つきましては、記録の事実関係についてご確認いただけないでしょうか。削除・訂正すべき箇所等がございましたら、赤字でご指示ください。ご多忙のところ恐縮ですが、7月10日を目途にご返送いただけないでしょうか。

なお、本原稿の公開に関してご許可をいただけないでしょうか。お許しの範囲で関係者に公開し、成果を共有するとともに、学生生活のあり方・送り方を考えるガイドブックとして役立てたく存じます。お返事を校正原稿といっしょにご返送いただけると幸いです。何卒ご理解ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴殿のますますのご発展を祈念申し上げます。

謹白

……………切り取り……………

平成2010年度 広島大学教育学部社会系コース「二十歳のころプロジェクト」の原稿の公開に関して、下記の範囲で了解します。

（了解いただける項目の□の全てに、チェックを入れてください）

1. 公開の方法について

- 講座の教員・学生に冊子体で配布すること（完成後、お届けします）
- 大学内のホームページに掲載すること <http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/>
- 認めない

2. 公開をお認めいただける場合、お名前の掲載について

- 実名を掲載してよい
- 仮名で掲載してよい

年 月 日

ご芳名
